

2015年3月期 決算概要

2015年5月15日

バンドー化学株式会社

I . 会社概要

II . 2015年3月期 決算概要

III . 2016年3月期 業績予想

I . 会社概要

会社基本情報

社名	バンドー化学株式会社(証券コード:5195)
本社所在地	兵庫県神戸市中央区港島南町4-6-6
代表者	代表取締役社長 吉井 満隆
設立	1906年4月(明治39年4月)
資本金	10,951百万円(2015年3月31日現在)

ベルト事業

自動車分野



●自動車用補機駆動ベルト ●オートテンショナ

産業機械分野



農業用機械分野



搬送分野



エラストマー製品事業

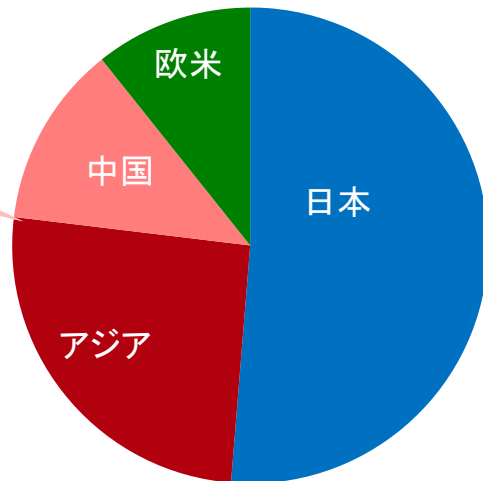


●精密機能部品製品 ●機能フィルム製品
(左:クリーニングブレード 右:高性能ローラ)

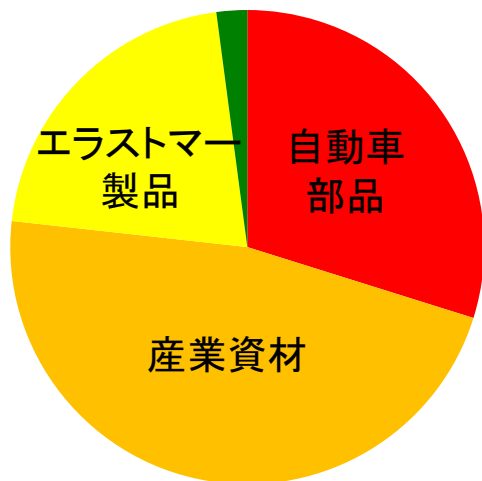
■ 事業構成（所在地別・製品別売上高）

所在地別売上高構成比率

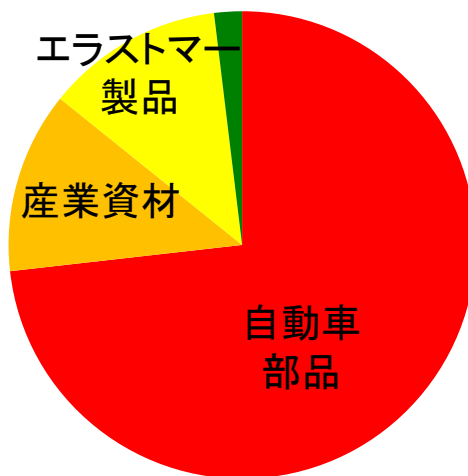
海外売上高比率：48.7%



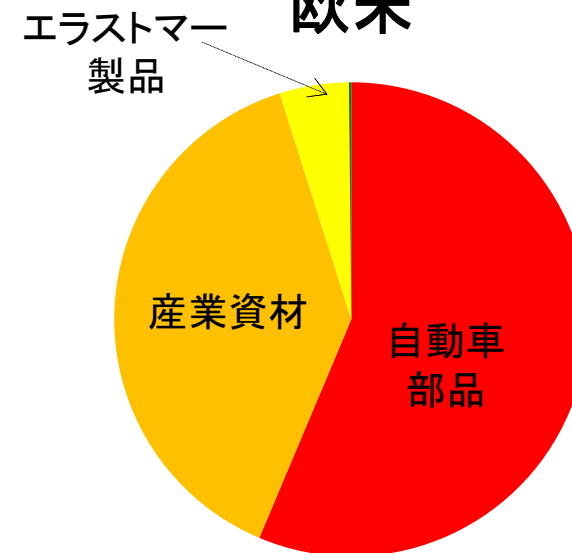
日本



アジア・中国



欧米



■ 世界でのベルト事業(自動車部品・産業資材)の占める割合は81.8%。

Ⅱ. 2015年3月期 決算概要

■ 2015年3月期 決算ハイライト

(百万円)

	2014/3	2015/3				
	実績	期初業績 予想(※)	修正業績 予想(※)	実績	前年同期比 増減額	修正業績 予想値差額
売上高	93,434	95,000	94,000	95,395	+1,961	+1,395
営業利益	5,517	5,800	4,600	4,797	△720	+197
経常利益	6,103	6,400	5,600	5,730	△372	+130
当期純利益	4,280	4,300	3,900	3,758	△522	△141

※期初業績予想は2014年5月14日に、修正業績予想は2015年2月13日に外部発表したものである。

- 売上高は、前年同期比+2.1%。
- 利益面では、グローバルな生産体制増強のための人員増や、国内における退職給付債務に係る数理計算上の差異の増加等により、営業利益は前年同期比△13.1%。
- 特別損失(減損損失)を当期に計上。

2015年3月期 事業セグメント別業績

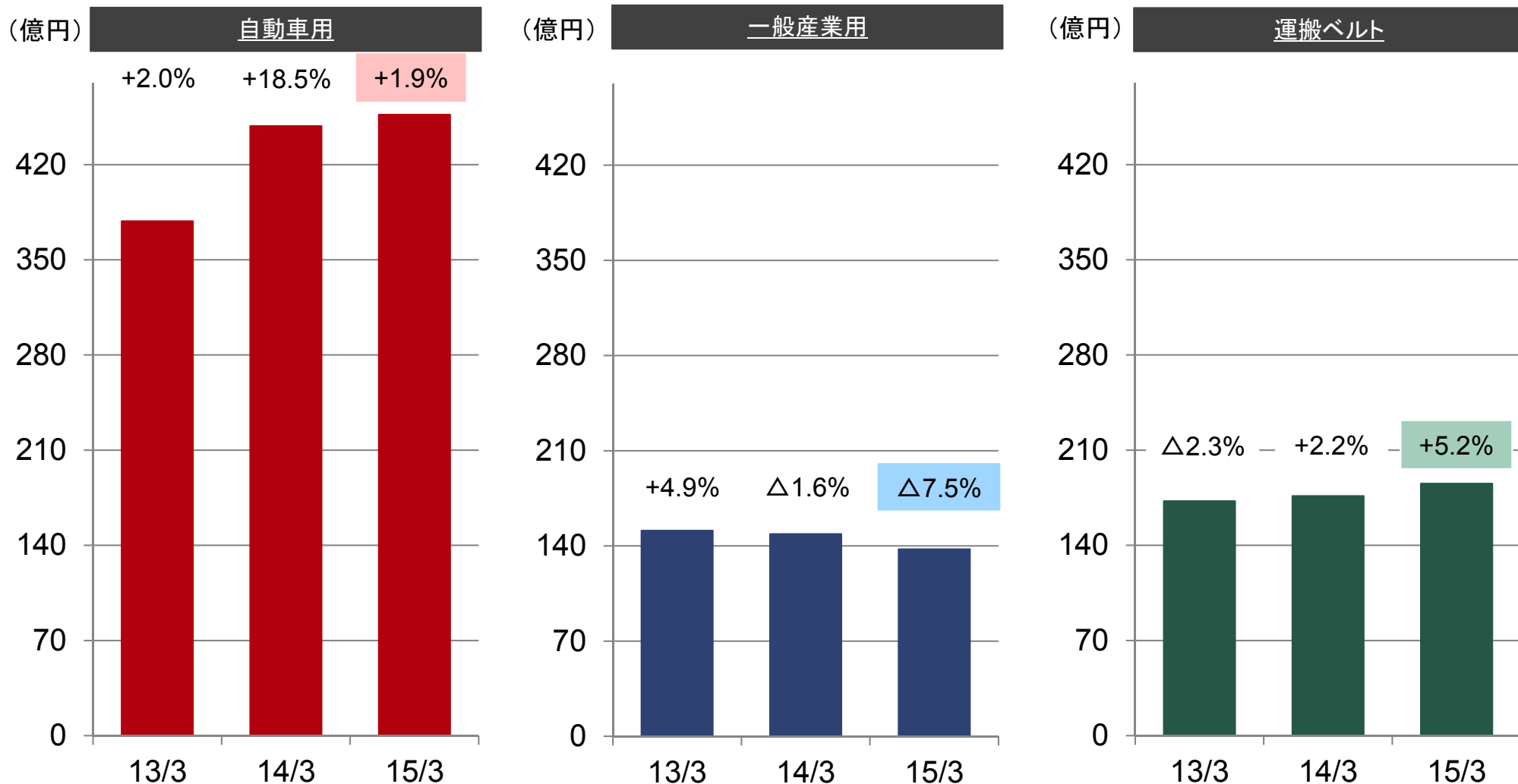
(百万円)

	2014/3	2015/3		
	実績	実績	修正 業績予想値	修正業績 予想値差額
売上高	93,434	95,395	94,000	+1,395
ベルト事業	77,483	78,101		
エラストマー製品事業	14,989	15,712		
その他	2,230	2,646		
セグメント間消去	△1,268	△1,064		
営業利益	5,517	4,797	4,600	+197
ベルト事業	4,892	4,155		
エラストマー製品事業	281	328		
その他	187	198		
調整額	157	115		

■ ベルト事業 売上高推移

売上高: 78,101百万円 前年同期比: +0.8%

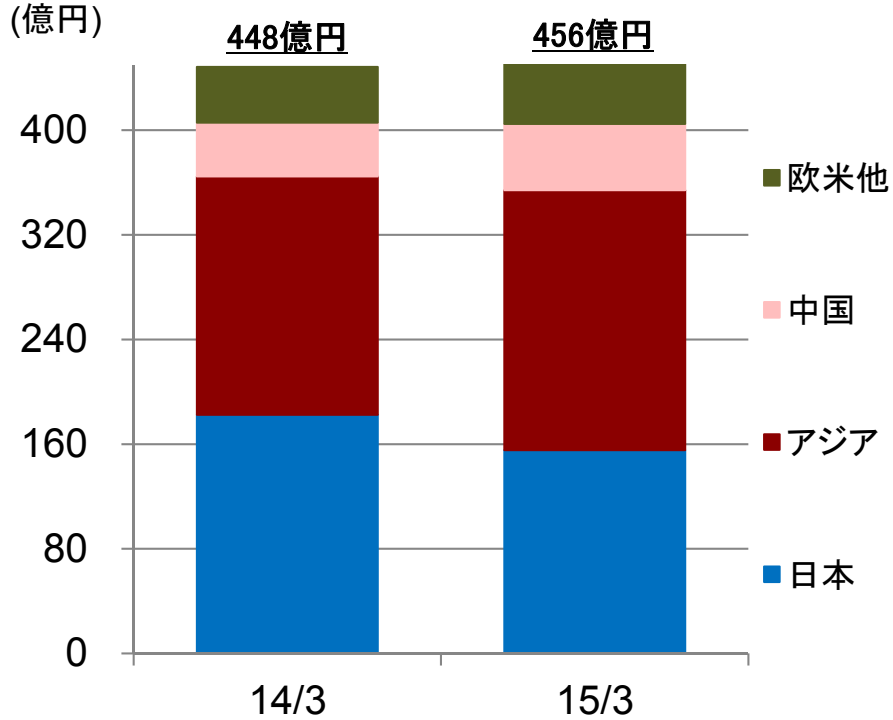
✓ 自動車用の伸び悩みが影響し、前年同期比で微増。



(注)上記売上高はセグメント間取引消去後。

自動車部品事業 概要

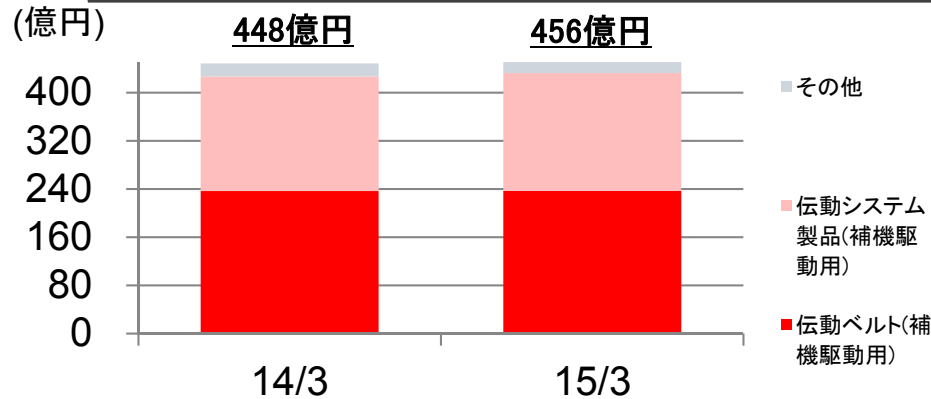
所在地別売上高



<p>欧米他 (+22.3%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 米国の自動車生産台数は前年同期比104%。自動車OEMのシェアアップと補修市場での拡販に注力。 欧州の自動車生産台数は前年同期比103%。売上高は前年同期比117%。
<p>中国 (+23.1%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数、前年同期比106%。 補機駆動用ベルト、オートテンショナとも好調。
<p>アジア (+9.0%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> タイの自動車生産台数は補助金の終了により前年同期比84%。韓国はストライキ等の影響で前年同期比98%。 自動車用ベルトはタイで減少したもののインドで増加し、アジアではスクーター用変速ベルトなどが好調に推移。
<p>日本 (△14.8%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自動車生産台数は、前年同期比97%と減少し、加えてベルト非装着車種が全体の約2割を占め、ベルト、オートテンショナなどが減少。 代理店において補修市場向け製品の前期末分の在庫調整により売上高が減少。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高

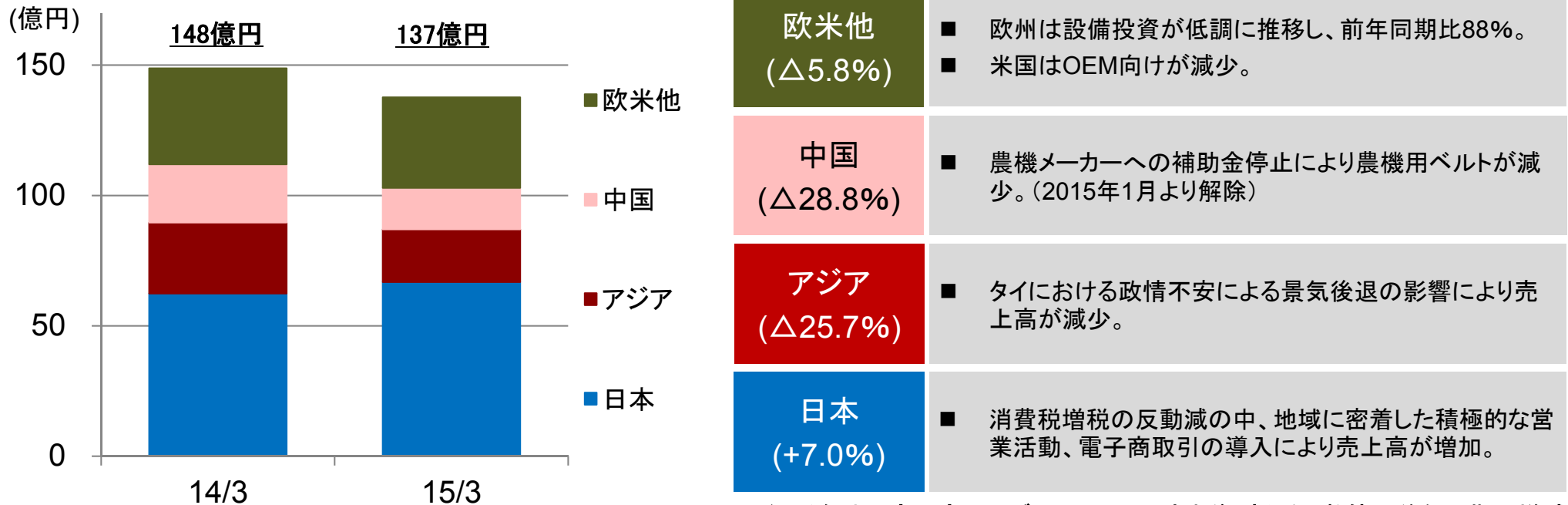


<p>自動車部品 (+1.9%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 伝動ベルト(製品構成比率53%→52%) 注力するアジア市場においては、二輪・四輪向けベルトが増加するも全体では前年同期比横ばい。 システム製品(製品構成比率42%→43%) 日本市場におけるベルト非装着車種の増加はあったが全体では前年同期比微増。
---------------------------------	---

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

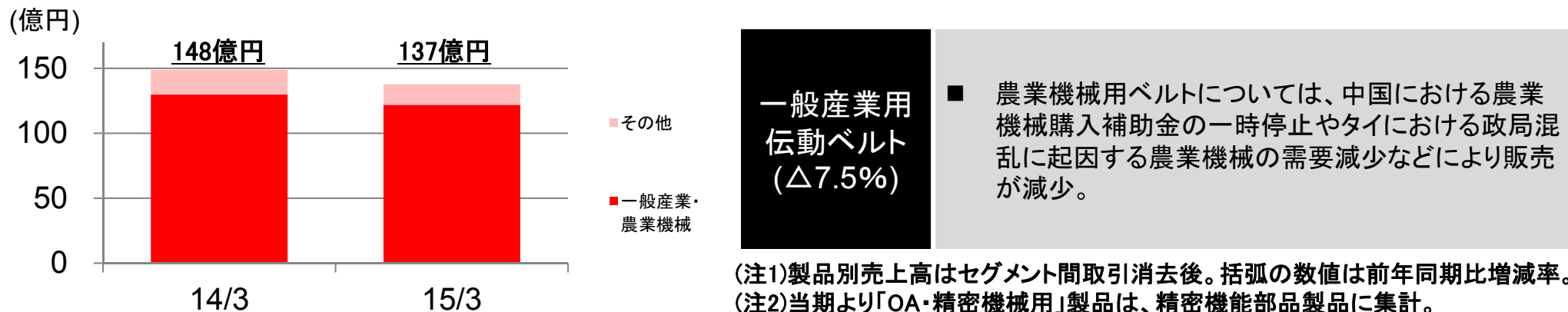
産業資材事業 概要(一般産業用伝動ベルト製品)

所在地別売上高



(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高

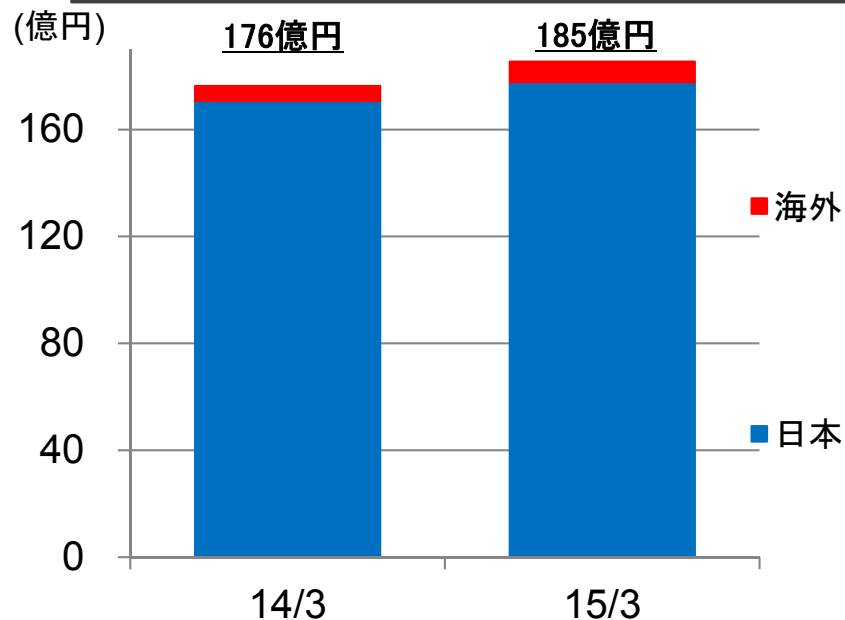


(注1)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

(注2)当期より「OA・精密機械用」製品は、精密機能部品製品に集計。

産業資材事業 概要(運搬ベルト)

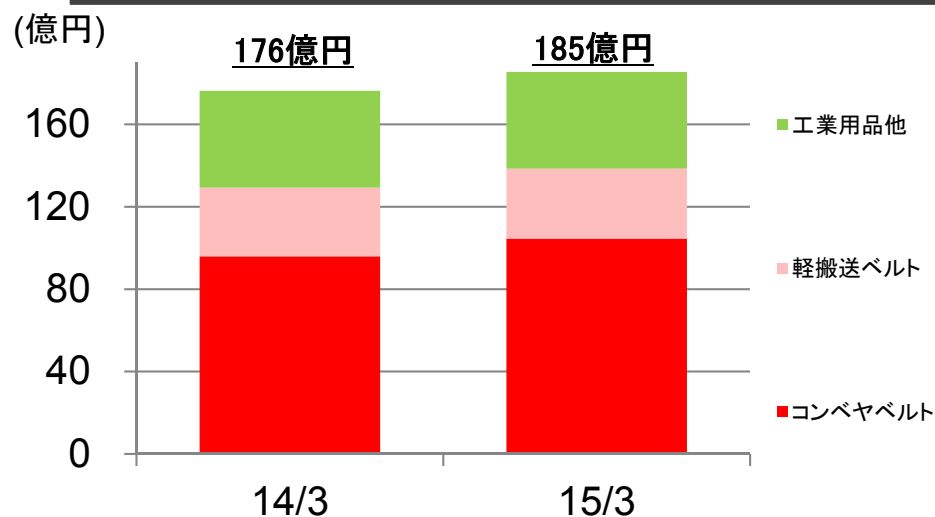
所在地別売上高



海外 (+37.8%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジア地域におけるコンベヤが増加。 ■ 軽搬送ベルトは東南アジアで増加。
日本 (+4.1%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 資源開発用コンベヤは減少。 ■ 火力発電向けFベルトは減少。 ■ 鉄鋼、製鉄所向けコンベヤが増加。 ■ 軽搬送ベルトは増加。

(注)所在地別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

製品別売上高

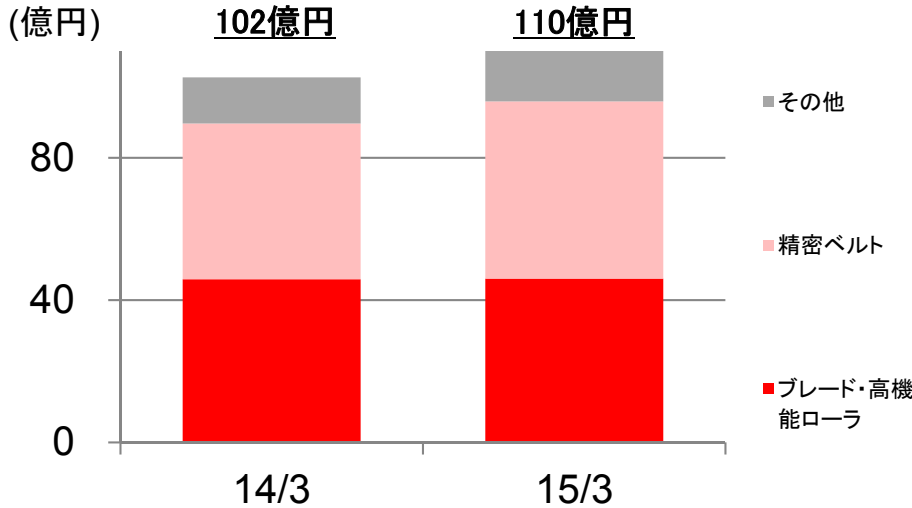


運搬ベルト (+5.2%)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 軽搬送ベルトは国内の物流分野で増加。 ■ コンベヤは、資源開発用の輸出案件が減少したものの、製鉄所向けが好調に推移したことにより売上高は増加。 ■ 工業用品の売上高は微減。
-------------------------	--

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

■ エラストマー製品事業 概要

精密機能部品事業 製品別売上高

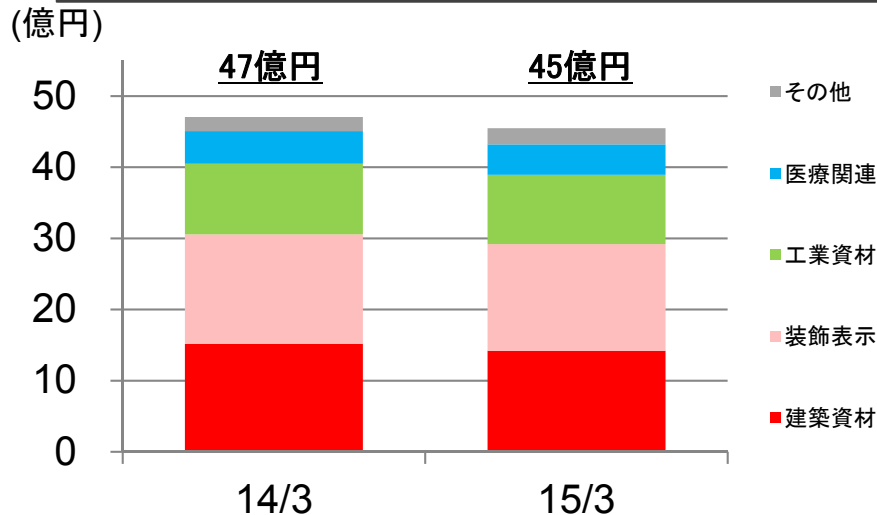


精密機能
部品
(+8.1%)

- ブレード・高機能ローラ: ブレードは主要顧客の製品内製化にともない減少。一方、高機能ローラは新機種の上高が増加。
- 精密ベルト: 堅調に推移。
- その他: オプトエレクトロニクス市場に向けて営業活動を進めてきた精密研磨材の販売が徐々に増加。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

機能フィルム事業 製品別売上高



機能
フィルム
(△3.3%)

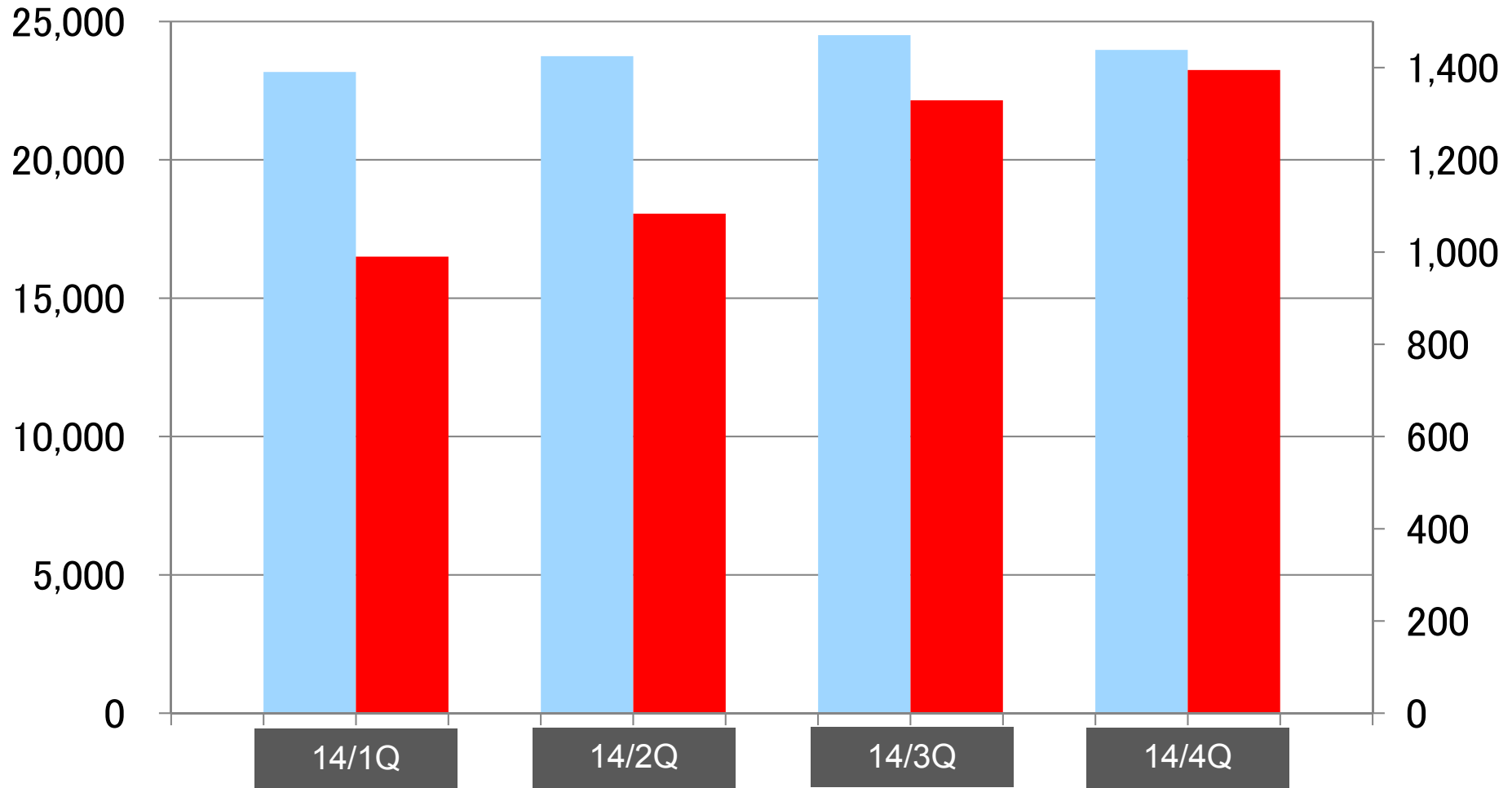
- 建築資材は、消費増税の反動減で販売が減少。
- 新製品の高級壁装用フィルムの販売開始。

(注)製品別売上高はセグメント間取引消去後。括弧の数値は前年同期比増減率。

2015年3月期 売上高・営業利益四半期推移

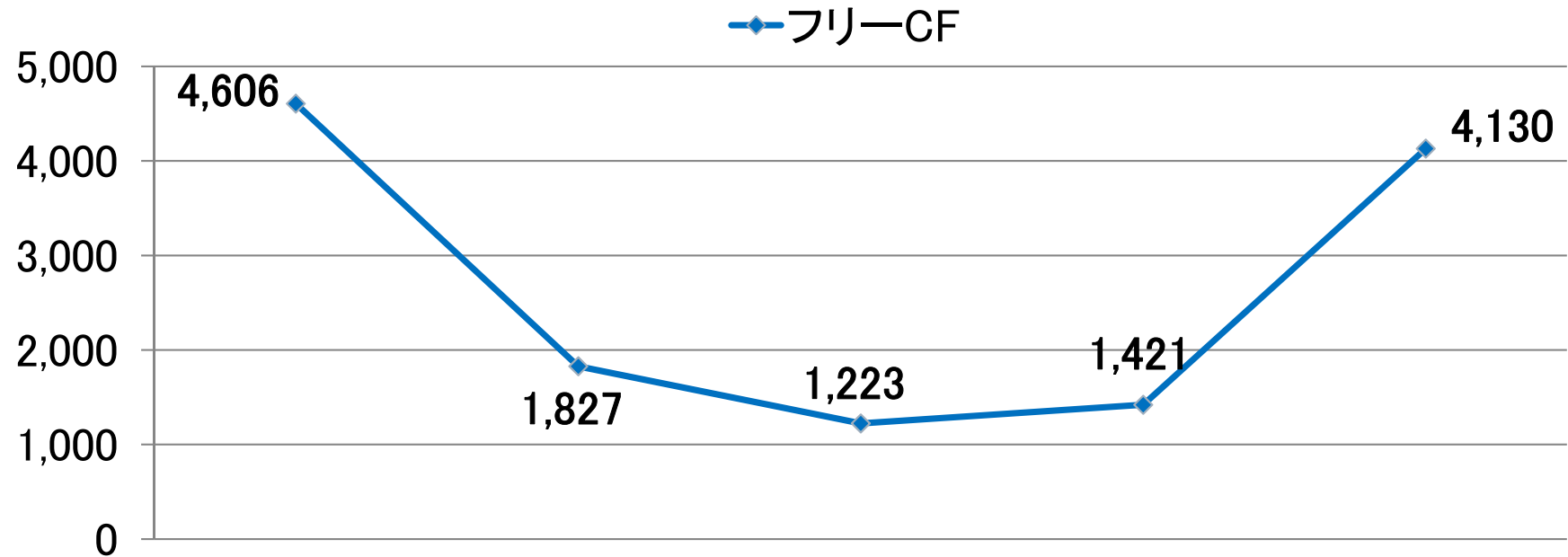
(単位:百万円)

- 連結売上高
- 連結営業利益(右目盛)



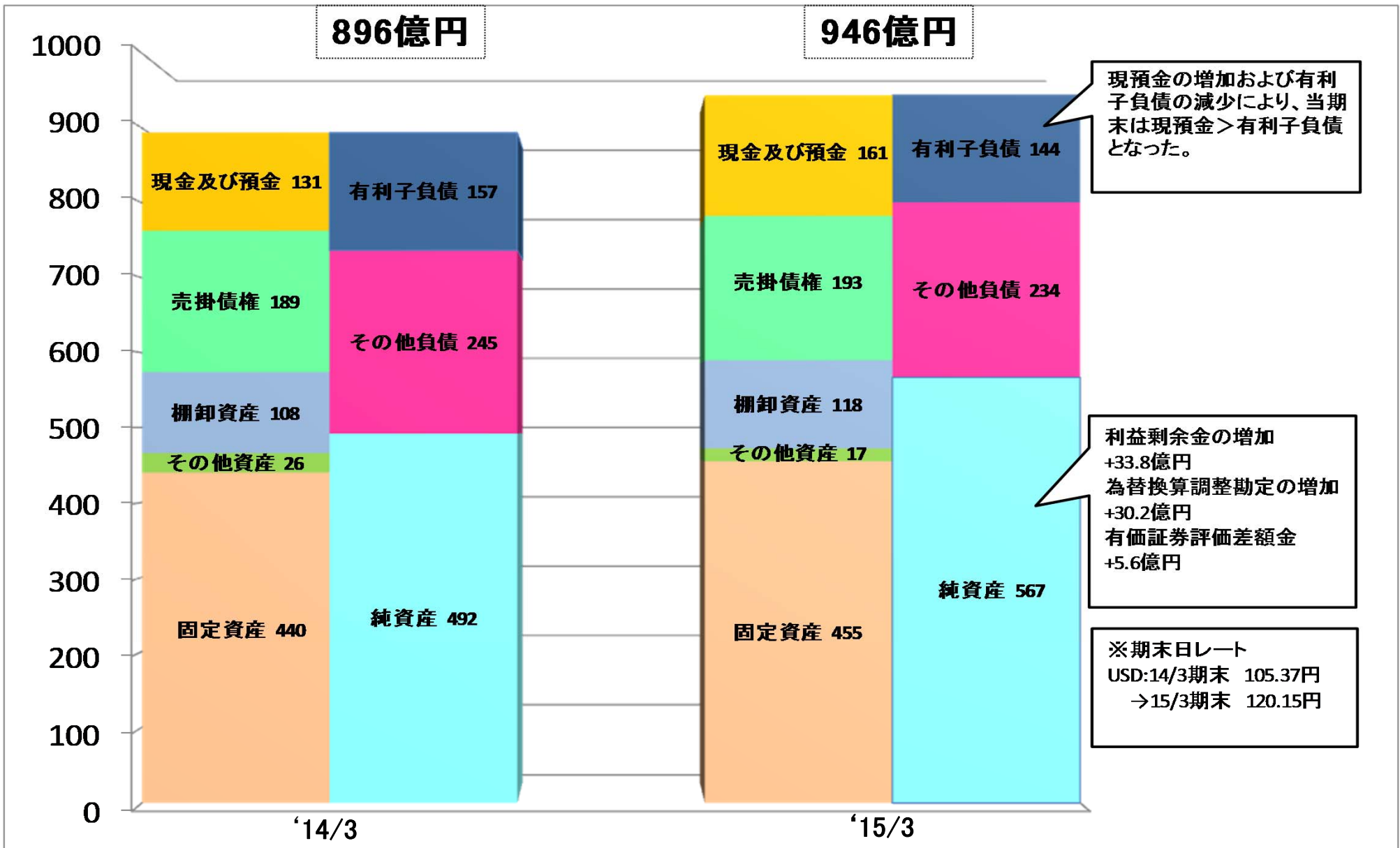
■ キャッシュフローの推移

(百万円)

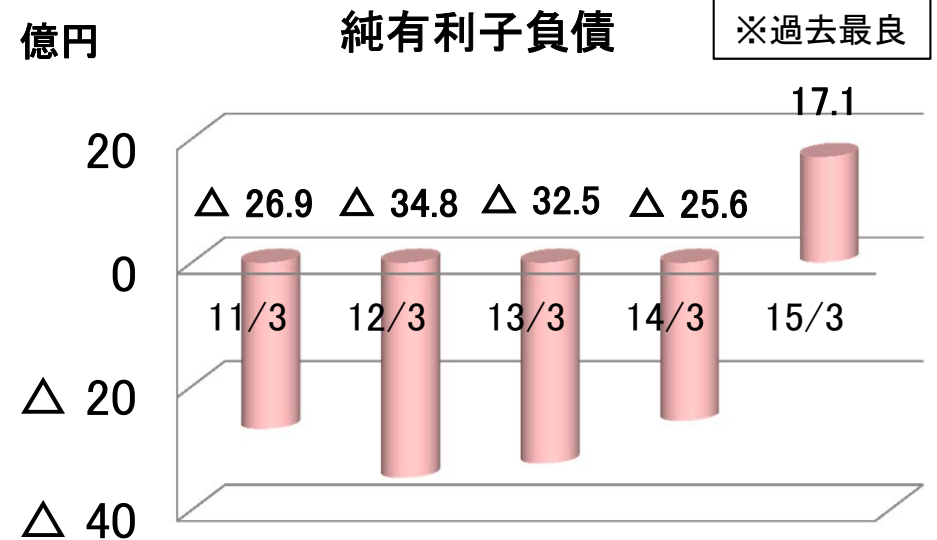
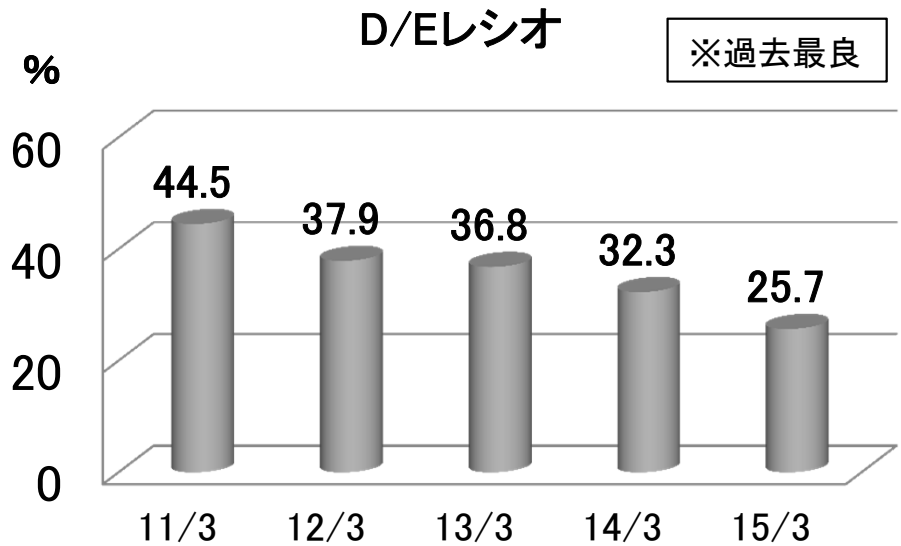
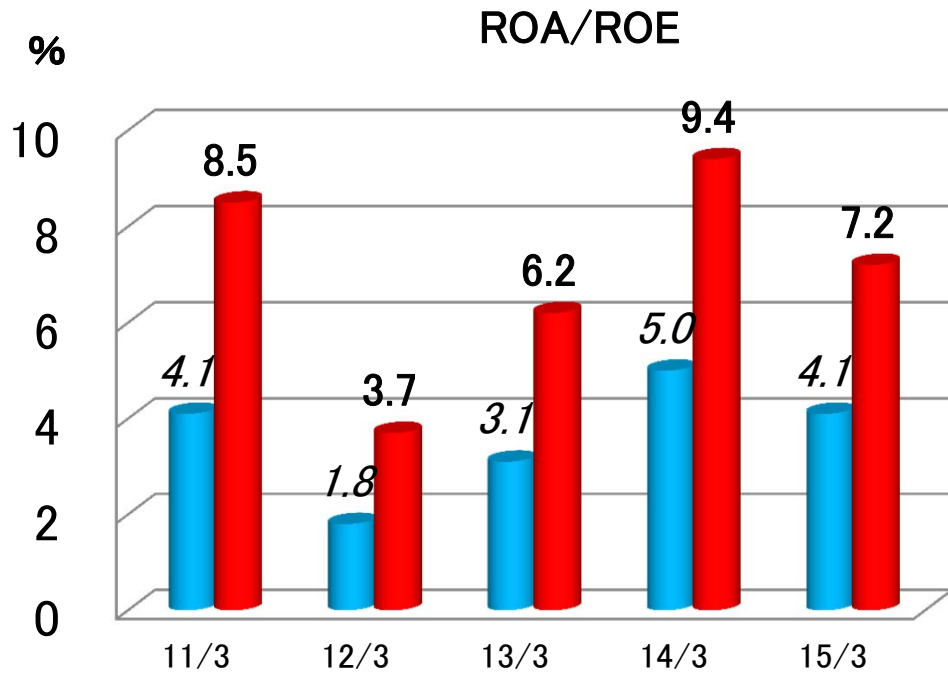


	11/3通期	12/3通期	13/3通期	14/3通期	15/3通期
営業CF	9,529	6,595	7,004	6,459	8,061
投資CF	△4,922	△4,767	△5,781	△5,037	△3,931
フリーCF	4,606	1,827	1,223	1,421	4,130

■ 連結貸借対照表



財務指標



Ⅲ. 2016年3月期 業績予想

2016年3月期 業績予想

(百万円、%)

	2014/3	2015/3	2016/3 予想	2016/3 予想	
	実績	実績		前年同期比	
売上高	93,434	95,395	100,000	4,604	+4.8%
営業利益	5,517	4,797	5,800	1,002	+20.9%
経常利益	6,103	5,730	6,800	1,069	+18.7%
当期純利益	4,280	3,758	4,500	741	+19.7%

販売面

- 自動車用ベルト市場においては、国内での需要減が見込まれるものの、アジア・中国及び北米での需要増、補修市場での積極的な販売活動により、販売拡大を見込みます。
- 産業資材市場においては、中国政府による補助金復活により、農業機械用ベルトの拡販に弾みがつくものと予想されます。加えて、2014年度までに開発してきた製品の本格的な販売拡充を推進します。
- 高機能エラストマー製品においては、精密研磨材やクリーニングシステム等の成長市場であるオプトエレクトロニクス市場の販売拡大を目指します。

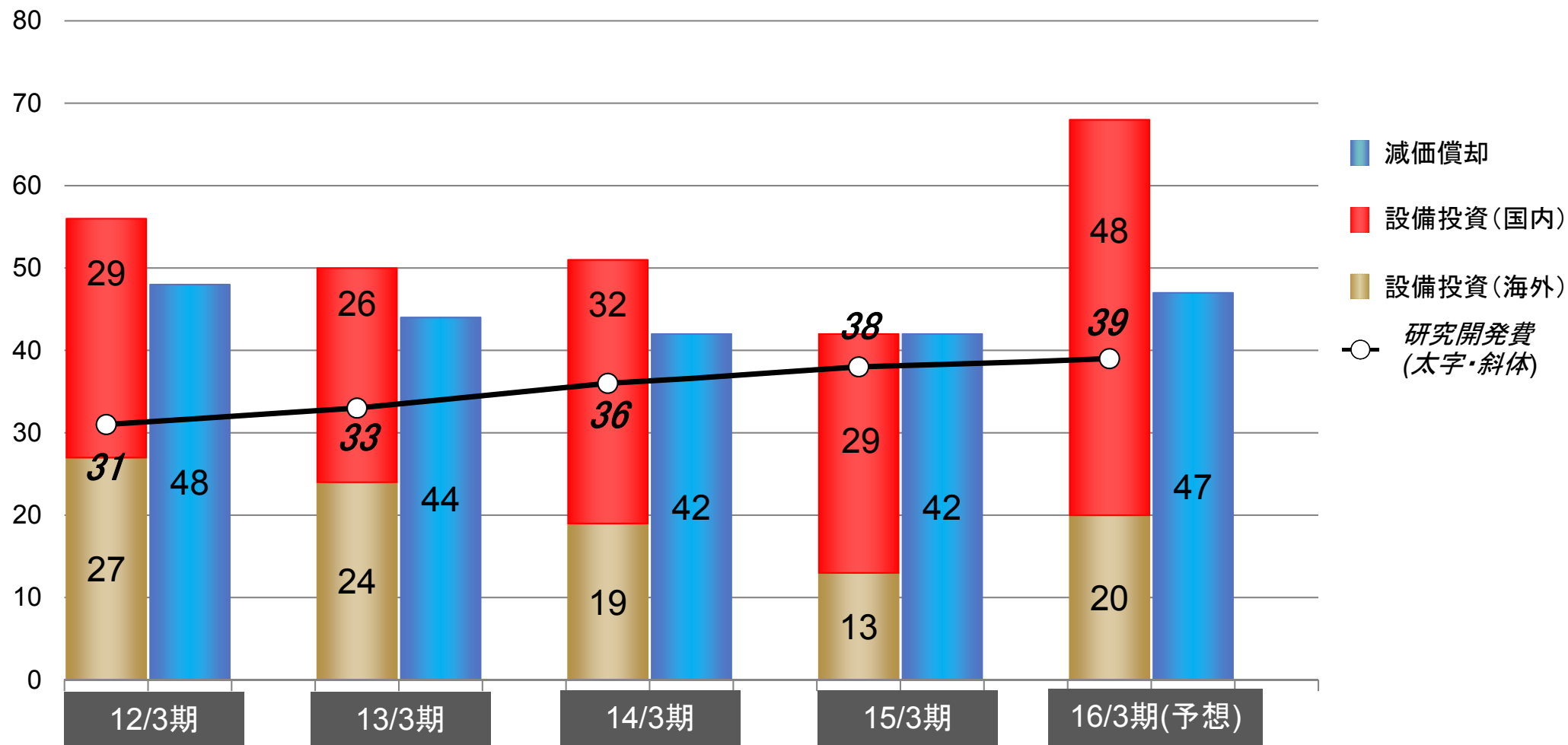
利益面

- 世界最適調達・生産・供給体制の確立により、総コストの低減を進めて参ります。また、昨年、一貫生産工場を設立したインドでは、現地生産品への切り換えを進めることにより、利益改善を図ります。
- コンベヤベルト・ポリウレタン製精密ベルト等での革新製法を本格稼働させコスト低減に寄与させてまいります。

為替

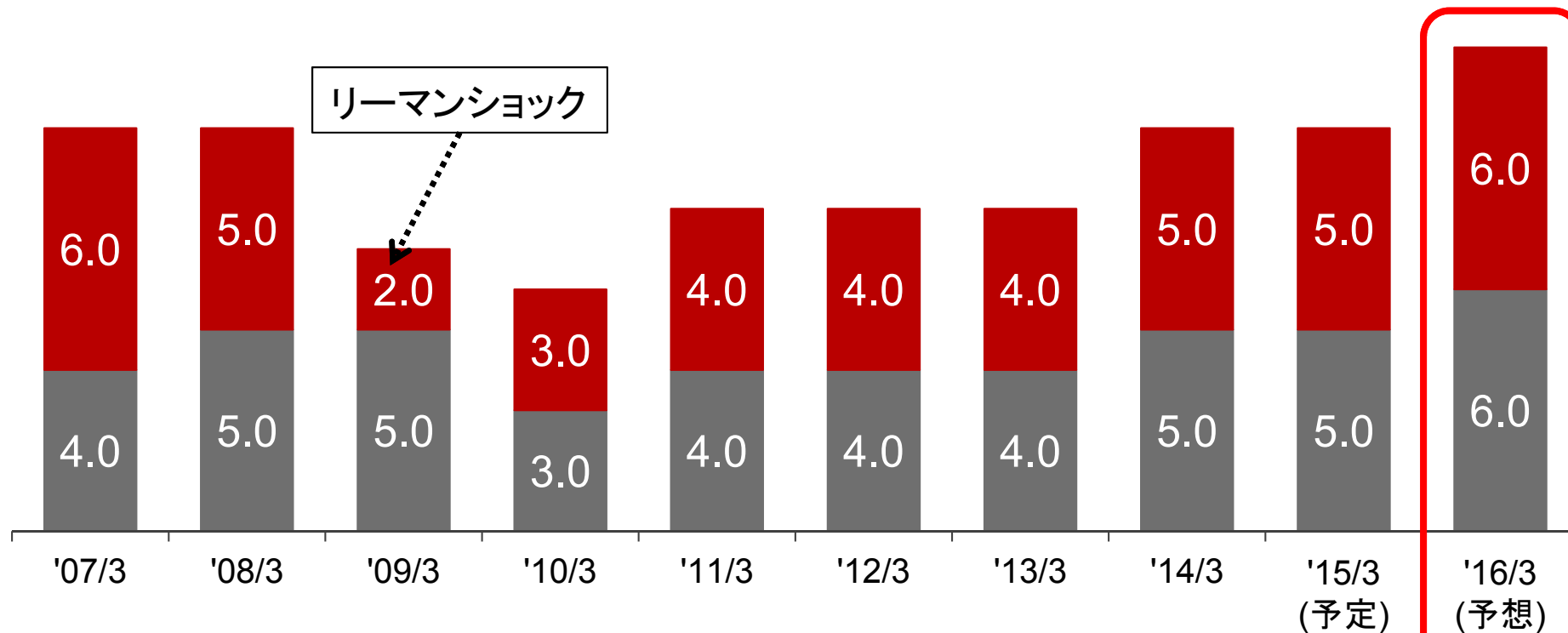
- 想定レート・・・1USD=120円、1EUR=140円、1人民元=20円

■ 設備投資額と減価償却費、研究開発費の推移



(単位:億円)

株主配当の推移



連結 EPS	39.3	52.7	△2.6	12.3	33.7	14.8	26.5	45.5	40.0	47.8
配当 性向	25.4%	19.0%	—	48.7%	23.7%	53.9%	30.2%	22.0%	25.0%	25.1%

主なトピックス

2014年

- 4月 ・インクジェットプリンター用「壁紙メディア」を販売開始
- ・電子デバイスの低熱抵抗化に寄与する「放熱シート」を開発
- ・神戸市立青少年科学館の「ネーミングライツ(施設命名権)」を取得



↑「壁紙メディア」



↑「放熱シート」

- 5月 ・「軽搬送用ベルト選定WEBサイト」を開設



↑「軽搬送用ベルト選定WEBサイト」



↑「バンドー神戸青少年科学館」

- 9月 ・神戸大学との「包括的な産学連携推進に関する協定書」を締結

- 10月 ・内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)に参画

- 11月 ・「HFDsystem®: ハイパーフラットドライブシステム」が
近畿地方発明表彰「兵庫県発明協会会長賞」を受賞



↑ 包括連携を通じて、用途開発を進める
新技術「伸縮性導電エラストマー素材」

↑「HFDsystem®」

- 12月 ・当社独自の接触帯電制御技術を応用した
クリーニングシステム「BANDO MDEC®」のデモルームを開設

2015年

- 3月 ・「バンドーテクニカルレポート No.19」を発行
- 4月 ・当社ホームページを全面リニューアル



↑「当社ホームページ TOPページ」